



世界糖尿病デー World Diabetes Day (WDD)

世界糖尿病デーとは

世界糖尿病デーは、糖尿病に対する理解を深め、予防や管理の重要性を啓発するための国際的な記念日です。IDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定し、国連により公式に認定されました。

11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして決めました。

2024年のテーマ

「糖尿病」から、世界共通語の Diabetes「ダイアベティス」へ

今、糖尿病医療の世界は、変わりつつあります。治療の進歩とともに、糖尿病のある一人ひとりが、病気があっても人生を充実させるためのお手伝いをする、アドボカシーの考え方に基づく医療を提供するという考え方が生まれています。

糖尿病の治療でよく耳にする血糖管理。血糖の自己管理は大切ですが、それが人生のすべてではありません。医療者とともに、二人三脚で病をコントロールできる時代がきているのです。

糖尿病があっても、なにひとつやりたいことを阻害されず、自分の夢を実現できる社会、生き生きと暮らすことができる社会。そんな社会を実現するのに必要なのは、糖尿病に対するほんの少しの関心です。正しく知ることは、糖尿病のある人へのやさしい理解につながります。

こんな方はお気軽に医師やスタッフにご相談ください

- ✓ 治療をしてもなかなか改善しない方
- ✓ 薬の服用時間が生活スタイルに合わない方
- ✓ 治療費が気になる方
- ✓ 何を食べたらよいか分からない方



他にも気になることがありましたら、お気軽に医師やスタッフまでご相談ください。



世界糖尿病デー
公式ホームページ



日本糖尿病協会
公式ホームページ

おうちでの取り組み

- 患者さんの生活スタイルに合わせた治療の提案 定期的な糖尿病教室の実施 栄養相談の実施

